

令和6年度 コミュニティ・スクール推進における年次計画のふり返り

協議の柱【あいさつ】

(評価) A : 十分達成できた B : ほぼ達成できた C : 達成できなかった（来年度の課題）

年次計画（令和6年度）		評価	具体的な取組・反省・今後の対策
学校の目標	<input type="radio"/> あいさつされたらあいさつを返す児童 90%以上を目指す。 <input type="radio"/> 日頃から先出しあいさつをする児童 70%以上を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつを返す児童 90%までは到達できなかった。低学年の児童の方があいさつがよい。高学年児童については、恥ずかしさがあるのかもしれない。コロナ禍で過ごしてきた影響もあるだろう。 ・ 先出しあいさつは、今一步だった。あいさつには個人差が大きい。 ・ 親子であいさつ登校（運動会の日）では、多くの保護者が参加していた。行事との抱き合せが効果的だった。 ・ 児童が当たり前のようにあいさつをするようになるには、大人の意識改革が大切だろう。あいさつのモデルが求められる。 ・ 小学2年生がたくさんあいさつ運動に参加している。これが広がっていくようにしたい。 ・ あいさつの啓発については、積み重ねが大切である。良くなっていくものと考える。
学校の活動計画	<input type="radio"/> あいさつの在り方（コミュニケーション能力の育成）に関する地域の参画を得た共通理解、共通実践 <input type="radio"/> あいさつ運動等への保護者、地域団体の参画	C	
地域の目標	<input type="radio"/> あいさつを通して地域の方が児童の顔を知る。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守り隊の方が、見守り活動を通してあいさつを交わしてくださっている。顔をよく知っている児童とはあいさつをしたり言葉を交わしたりするが、そうでない児童は今一つである。積み重ねが必要だろう。
地域の活動計画	<input type="radio"/> 散歩の時間等を登下校に合わせたり、登下校時刻に家の前に立ったり等無理なくできるあいさつ・見守り活動の実施と呼びかけの継続・拡充 <input type="radio"/> 地区行事の復活	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校時刻に合わせて散歩等をするなどは、今一つできていないのではないか。 ・ 回覧板の手渡し運動について、活動の広がりが感じられないで、回覧板に「手渡して渡しましょう。」と入れてもらうとよいのではないか。 ・ 子どもを対象とした地区の行事の復活は今一步だった。育成会がない地区が多くなっている。 ・ 大人があいさつのお手本を見せることが大切である。